

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

**TEL 098-868-6895**  
**FAX 098-863-1495**

## 経営者への活きた言葉

**経営に近道はない 法師善五郎 (世界最古の旅館 法師 46 代当主)**

1. 養老 2 (718) 年に、創業した法師だが、この数年間は第 2 次世界大戦以来、経験したことのない苦境を潜り抜けてきた。とはいえ、経営に近道はない。逆境の時だからこそ、奇をてらうことなく、お客様に心身を癒していただく温泉旅館の本分を再度、磨き抜いていく。
2. 箱物への過大な投資は命取りになりかねない。カネをかけて新しいハードを導入しても、設備の賞味期限は短くなっており、償却が終わる前に陳腐化する。バブル期の投資で痛い経験をしたこともあり、ハードよりもソフト、カネよりも知恵でサービスを充実させていくことを考えている。例えば、季節の良い時期は冷暖房を止めて、お客様に自然の風を満喫してもらう。お客様の要望だからといって同じ日に、ある部屋は冷房をかけて、別の部屋は暖房をかける、というやり方は本当の意味でのサービスではない。すだれ越しに自然の風に当たり、お風呂上がりの体を休めていただく。これこそ、都会のホテルでは経験できない温泉旅館の醍醐味ではなからうか。
3. 法師には明文化された家訓は存在していない。当主が代々、口頭で「自ら学べ」という家訓を受け継いできた。この家訓は一種の問題提起になっており、意味は一切、説明してもらえない。どんな老舗でも、結局は 1 日 1 日の決断を積み重ねていくのが経営にほかならない。自らの力で永続してきたのではなく、「生かされてきた」ことに感謝する。その気持ちを大切にしつつ、9 年後の創業 1300 年を目指したい。

(参考:「日経ビジネス」2009 年 10 月 12 日号)

## 経営者のための理念・哲学

**信條は勤勉の心構えと実践**
**岡本武男 (頤明館中学・高等学校長、90 歳で校長に就任)**

1. 仏教の言葉に「四弘誓願」という有名なものがあります。  
衆生無辺誓願度 煩惱無量誓願断  
法門無尽誓願学 仏道無上誓願成  
 (限りのない無数の衆生を誓って済度する。無限りある人間の煩惱を断ずる。限りなく広く深い仏法のすべてを学ぶ。無上の仏道の世界を悟る)  
 要するに死ぬまで修行しろ、死ぬまで必死に頭と体を使えということなんでしょう。
2. 人生を生きる上で、信條を持つことは欠かせません。しかし、若い時に感銘を受けたと思っていてもそれが揺るぎない人生の信條になることは難しい。やはり自分で勉強したり、経験を積み重ね苦勞することによって徐々に固まっていくものだと思います。人によって様々ですが、確かなことは信條を持つためには勤勉でなければならないということです。勤勉の心構えと実践なしに、信條というものは生まれてこないように思われます。

(参考:「致知」:2010 年 1 月号)

## 海外事情

**英語を使った職を奪い合うインドと中国**

1. 英語を話せる人口の比較で、中国がすでにインドを上回っていることが分かった。インドでは推計約 5500 万人が英語を話すとされているが、中国ではすでに約 2 億人が英語を使っているそうだ。中国の小学校では英語教育が導入されたこともあって、毎年 2000 万人が英語を話すようになっていくという。イギリス国内では「インド人は英語を話せる」と重宝され、顧客窓口をインドに外注している会社は多い。電話での顧客対応をインドに転送するなどして、コスト減につなげている。
2. ところが、最近ではインドに外注されたサービスの質に対し、英国内での不満が高まっている。このまま英語人口が中国で増え続けると、インドが経済的ダメージを受ける可能性も否定できず、インドと中国の間で、英語を使った職を奪い合う日は、そう遠くないかもしれない。

(参考:「WEDGE」2010 年 1 月号)

## 古典に学ぶ

**偉人の伝記**

「偉人の伝記というものは、一人の偉大な魂が、いかにして自己を磨きあげ、鍛えていったかというその足跡を、もっとも具体的に述べたものですから、抽象的な理論の書物と違って誰にも分かるし、また何人にもその心の養分となるわけです。あらゆる知識のうちで、われわれにとって一番根本的な知識は、この二度とない自分の一生を、いかに送るべきかという問題、すなわち、いかに生くべきかという知識だと思います」

(参考:森 信三「修身教授録抄」:致知出版社)